

## 職員による放課後等デイサービス ほんわか川口の自己評価

放課後等デイサービス ほんわか川口

実施日 平成 30 年 1 月 19 日～平成 30 年 1 月 31 日

対象者 ほんわか川口指導員 9 名（休職者 1 名を除く）

改善が必要な項目

### ①室内のスペース

利用者数は定員内だが、個々の体の大きさ室内の広さから、職員にも保護者の方にも「狭い」という意見が出た。

イベントで使うものや、事業所で所持している衣替え後の着替え等、普段使わない物を職員の休憩室として借りている物件に保管している。冷蔵庫等の備品の配置、カラーBOX等の収納品の導入・位置替えを行い、限りあるスペースをより良く活用できるよう検討している。それに付随し、学習や自由活動の場、利用者さん同士の相性も考慮し、空間の分断のため仕切りの配置も検討中。また、公園や野外散策、周辺施設等、戸外活動を積極的に行う。

### ⑯打ち合わせ

送迎時等利用者さんと接していない時や、スマートフォンアプリを使って連絡を取っている。

職員に主婦が多く、送迎も送り時間が遅い利用者もいるため、週数回からでもミーティングができるよう調整をしていく。

### ⑪身体拘束

他者へ向けた問題行動による周りの利用者さんへの安全確保のため一時的に行うことを行っており、保護者の方に説明し、理解していただく。

身体拘束にならない引き留め方（握手、ハイタッチ等）を検討・実施し、個々にあった方法を確立する。

### ⑬ヒヤリ・ハット

口頭での共有が多く、十分に周知されているとは言えない。書面に残し、定期的に読み合わせ等をして、周知・確認をしていく。

## 放課後等ディサービス ほんわか川口 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕切りが必要</li> <li>狭い</li> <li>必要なない物の処分、休憩所に保管し、教室内を広げている</li> </ul>
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎等により職員が手薄な時は利用者さんが室内で楽しめる遊びを提供している</li> </ul>
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所周辺は段差等が多く、バリアフリー化がなされていない</li> </ul>
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1	6	2	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	4	4	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回が初めてのため、今後公表していく</li> </ul>
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	4	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部調査を行う</li> </ul>
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修費用の検討</li> <li>研修結果の周知、社内研修の強化</li> <li>外部から講師を招く</li> </ul>
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか	5	3	1	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所にあったツールを使用する</li> </ul>
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員を中心に話し合いを行う</li> </ul>
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	4	1	



携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	6	3	・ 保護者の方から利用者さんの状況や情報を事細かに聞いてまとめている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	—	—	・ 学校を卒業した利用者さんがまだいないが、情報の提供を行っていきたい
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	6	2	・ 研修結果の周知、社内研修を積極的に行う
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	7	・ 現在実施していないが、保護者の方から要望があった場合検討していく
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	1	5	3	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	2	0	・ 連絡帳や送迎時に話をし、必要に応じて面談を行っている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	6	3	
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	5	0	
保護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	2	0	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	3	
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	0	

	(34) 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3	0	
	(35) 個人情報に十分注意しているか	6	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パソコンのセキュリティの強化</li> <li>・ シュレッダーの導入</li> <li>・ 書庫の施錠</li> </ul>
	(36) 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	
	(37) 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	6	3	
非常時等の対応	(38) 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成し、周知する</li> </ul>
	(39) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	4	2	
	(40) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	3	0	
	(41) どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他者へ向けた問題行動による周りの利用者さんへの安全確保のため一時的に行うことを保護者の方に説明し、理解していただく</li> </ul>
	(42) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師の指示書はないが、保護者の方からアレルギー等の情報を提供してもらい対応している</li> </ul>
	(43) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口頭での共有が多いため、書面に残し読み返せるようにする</li> </ul>